

断面 29 Er-β

受 蝕 土

母材料：石英粗面岩風化碎屑物

採取地：兵庫県宝塚市 神戸事業区66林班は小班

海拔高：150 m

地 形：山頂緩斜面の肩

方 位：S 71°W

傾 斜：18°

林 相：アカマツ天然林（アカマツ・ソヨゴーツジ類—ネザサ・ススキ）

断面記載：

A₀ 0.5cm 特別な発達なく、L-F が粗に堆積。

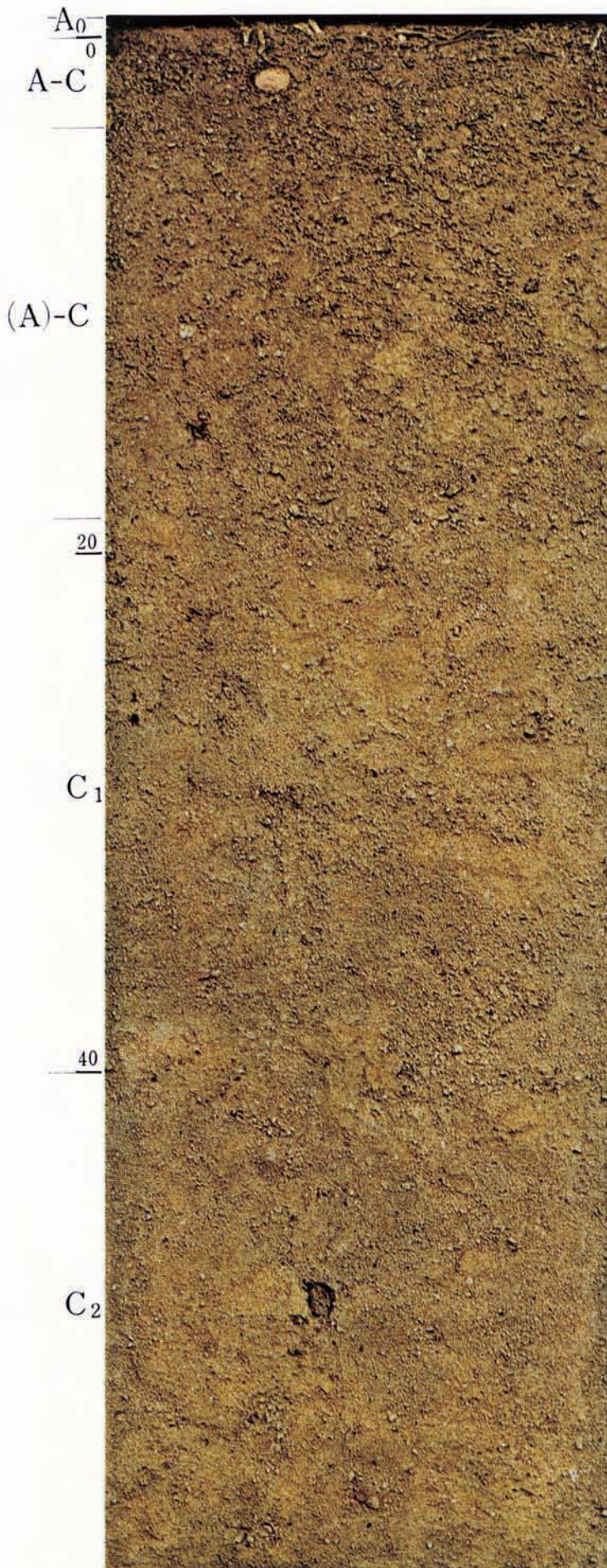
A-C 4~5cm にぶい黄褐色(10 YR 5⁵/₃)、腐植に乏し、細礫あり、砂質壤土、細粒状および粒状、軟、乾、細根に富む、中根まれ、次層との境界は判。

(A)-C 15cm 黄褐色 (10 YR 5⁵/₆)、腐植に乏し、細礫を含む、砂質壤土、粒状化、堅、潤、細根あり、次層との境界は漸。

C₁ 15~20cm 明黄褐色 (10 YR 6⁵/₆)、腐植に乏し、小・細礫含む、砂質壤土、構造なし、堅、潤、細根まれ、次層との境界は漸。

C₂ 30 cm + 明黄褐色 (10 YR 7⁵/₆)、腐植に乏し、未風化ならびに風化小礫を含む、砂質壤土、すこぶる堅、潤。

採取年月日：1965年3月23日



表面の侵蝕によって土層の大部分が削剥された土で、西南日本の丘陵地に多いせき悪林土壌の標式的なものである。

この断面は石英粗面岩の風化生成物を母材としたもので、A層、B層を欠除した極端な受蝕土である。断面ではC層の表層部を腐植が汚染しているが、B層は認められない。

砂質壤土であるが堅密で、理化学性がきわめて悪い。

強酸性で腐植、塩基にはなはだ乏しく、著しくやせた土である。

このような土壌は生産力が低く、林木の生育はきわめて悪い。この改良のためには十分な階段工、有機物加用のほか、排水の処置等も必要であり、経費的にもその困難性が大きい。



採取地の地形

層 位	C %	N %	C/N	pH (1:2.5)	置換酸度 Y ₁	CEC m.e	置 換 性		Ca/CEC	Mg/CEC
							Ca	Mg		
(A)-C	1.7	0.07	24	4.20	42.5	12.76	0.84	0.28	6.58	2.20
C ₁	0.3	0.02	15	4.36	31.3	7.99	0.42	0.01	5.26	1.25

層 位	土壌中の細粒(0.2~0.1mm)の鉱物100分比					土 壌 中 の 粘 土 鉱 物		
	石 英	長 石	火山ガラス	石英粗面 岩 細 粒		加水ハロイサイト ・ハロイサイト	メタハロイ サ イ ト	14~15 Å 鉱 物
(A)-C	18.2	4.5		77.3		++	+	×
C ₁	28.6	5.8	7.8	57.8		+	++	